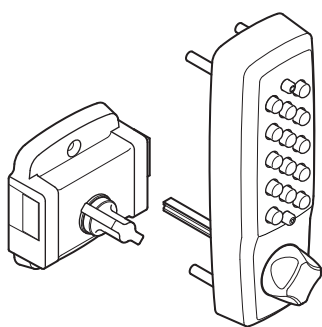
7260005

KL2100
面付本締錠

取扱説明書　（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。

22404
22404M

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉
年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日
ただ今の記憶番号

キーレックス 2100 シリーズ 保証書

お買い上げ日から１年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する故障、又は 本証のお買い上げ日 及び 販売店名の欄に記入がない場合は、保証期間内でも有料修理になります。

機種名： キーレックス 2100　22404，22404M	
お買い上げ日：　年　月　日　保証期間：お買い上げ日より１年間	
販売店 住所・店名	
品質ロット No.	検印

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社　長沢製作所

東京支店　TEL. 03-5383-1811（代）
FAX. 03-5967-3103

福岡出張所　TEL. 092-524-7031（代）
FAX. 092-524-7032

大阪支店　TEL. 06-6783-5091（代）
FAX. 06-6783-5092

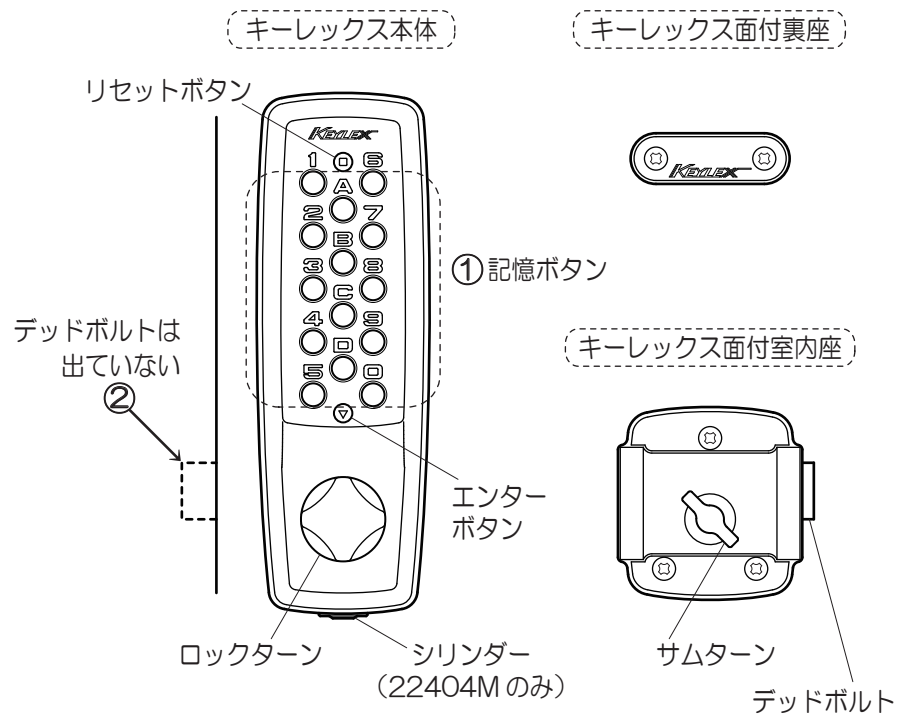
基本操作

ご使用前に確認してください

① 登録している記憶番号
② 室内座のデッドボルトが扉から出ていない

鍵付タイプの場合は
記憶ボタン操作の代わりに
キー操作でも開扉できます

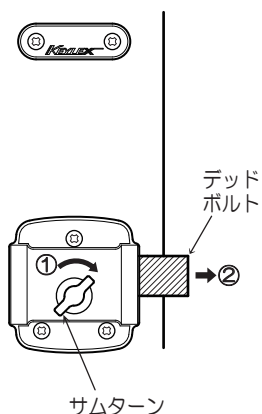
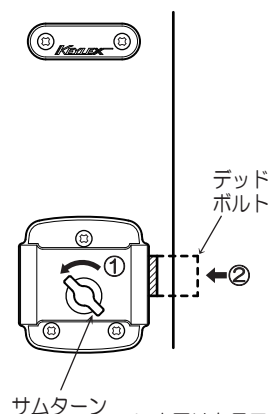
※ 図は右吊元仕様です
（吊元については４ページの
吊元と吊元設定の確認 を参照）

室内側	室外側

室内側

施 錠

① サムターンを回します
② デッドボルトが出て、施錠されます

解 錠

① サムターンを回します
② デッドボルトが納まり、解錠されます

室外側

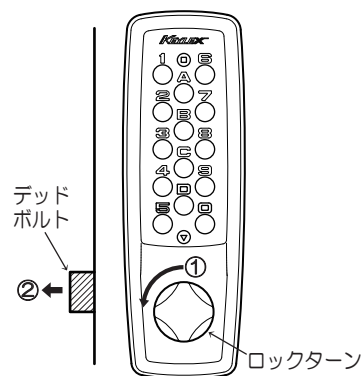
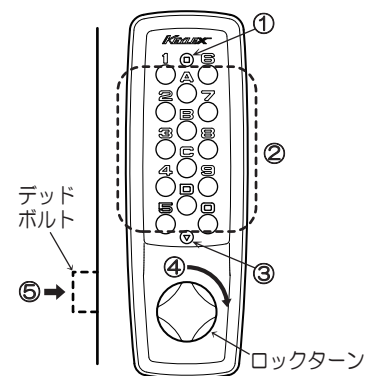
施 錠

① ロックターンを回します
② デッドボルトが出て、施錠されます

解 錠

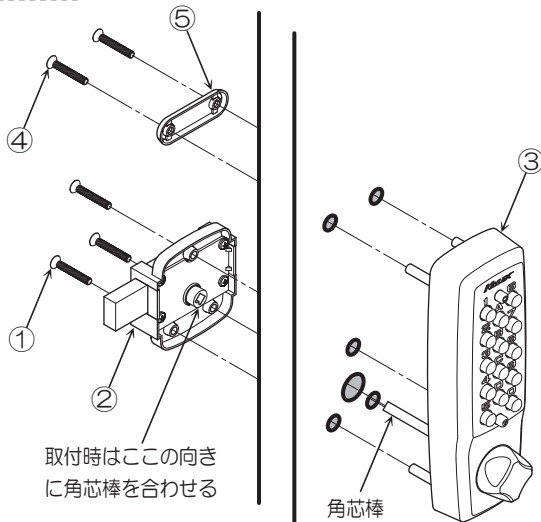
① リセットボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
② 正しい記憶ボタンを押します
③ エンターボタンを押します
④ ロックターンを回します
⑤ デッドボルトが納まり、解錠されます

施 錠　解 錠　施 錠　解 錠

デッド ボルト　サムターン　ロックターン

※ 本図は右吊元仕様（左吊元時は対称）

記憶番号の変更手順　扉は開けたままの状態でおこないます

【１】キーレックス本体を取り外します

取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください

Ⅰ：①本体固定ねじ３本をはずし、②面付室内座を取りはずします

Ⅱ：③キーレックス本体の落下に注意しながら
　④本体固定ねじ２本をはずします

Ⅱ：③キーレックス本体と⑤面付裏座を取りはずします

室内側

⑤

④

③

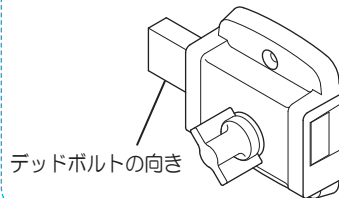
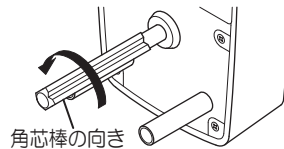
①

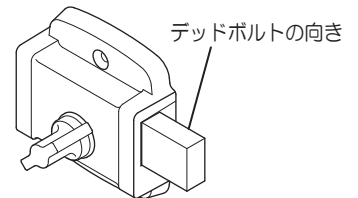
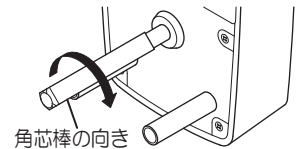
②

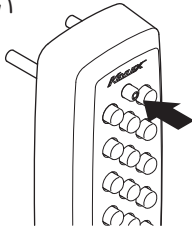
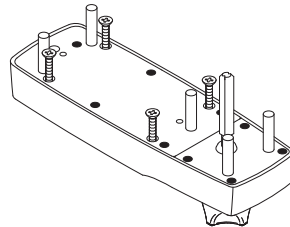
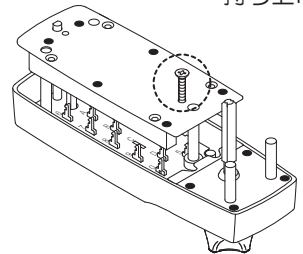
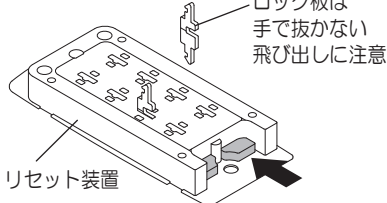
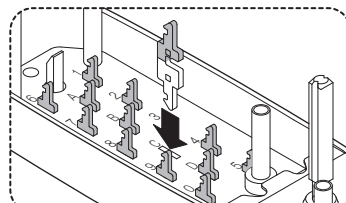
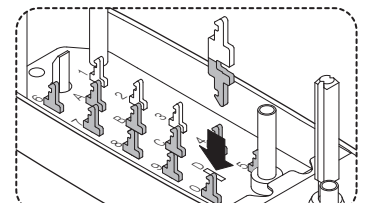
取付時はここの向きに角芯棒を合わせる

角芯棒

本図は右吊元仕様（左吊元は対称）

室外側

左吊元取付時の位置

右吊元取付時の位置

【２】記憶番号の設定変更をします

Ⅰ　本体表側のリセットボタンを押す
⑧まで記憶ボタンは押さないでください

Ⅱ　本体裏のねじ４本をはずす
（赤色ねじははずさない）

Ⅲ　ねじを下図の位置に入れ
持ち上げる

Ⅳ　リセット装置にロック板が残った場合　灰色部を矢印方向に押してはずす

Ⅴ　今までの記憶番号を消す：白色のロック板を赤色に差し替える

Ⅵ　新規記憶番号をセット：新しく記憶させる番号のロック板を白色に差し替える【下図 123D】

⑦ 新規記憶番号を必ず記録します。本紙１ページに記入欄があります

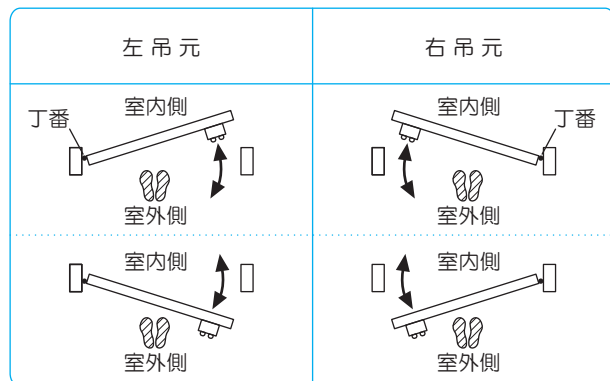
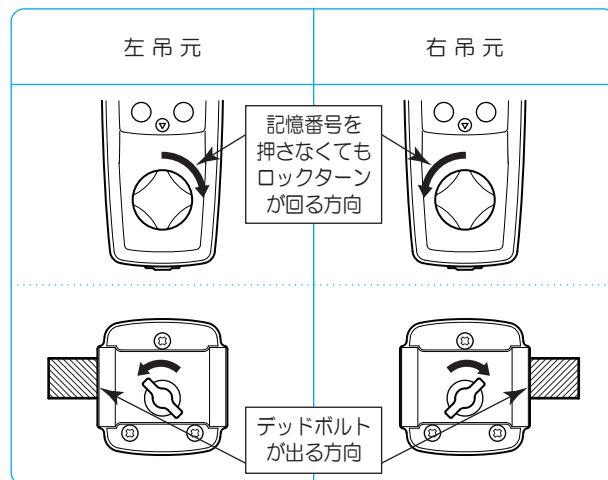
⑧ リセットボタン ＋ 新規記憶ボタン ＋ エンターボタンを押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。
基本操作 室外側欄を参照します

【３】本体を取り付けます

【１】と逆の順番で取り付けます
角芯棒，デッドボルトの向きに注意して取り付けます（上図参照）

取り付けたら、扉を閉めずに２ページの 基本操作 で作動確認をします

吊元と吊元設定の確認

【１】下図で扉の吊元を確認します
キーレックス本体（ボタン側）から見て
扉の丁番が右か左のどちらについているかで
判断します

【２】キーレックス本体と面付室内座の吊元設定を確認します
取り付ける扉と吊元が違う時は、吊元を変更してください
（別紙 取付説明書 ② 【2】【3】参照）

記憶番号設定に関するご注意

● KL2100 は 1 ～ 14 桁まで任意の記憶番号を設定できます。

● ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例）記憶番号　1･2･3　の場合
1･2･3　と押しても　2･3･1　3･1･2　1･3･2　と押しても解錠できます。

● 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。　（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例）1･1･2･3　や　1･2･2･3　の設定はできません。

注意　危険防止の為に以下をお読みください

■ **取付ねじのゆるみ**
● 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。

■ **受座の飛び出し**
● 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。

■ **他の用途への使用**
● ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。

◆ **操作上の注意（故障の原因となります）**
● 製品の分解、改造はしないでください。
● デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
● ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。

◆ **永くご使用頂くために**
● 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
● 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。
汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。